

## 憲法96条の改定を許さない 権力乱用から国民を守る

5月3日は「憲法記念日」です。

自民党は日本維新の会などの協力を得ながら今国会に憲法改定の発議要件を緩和する憲法96条の改定案を提出し、参院選挙でも争点にする動きを強めています。

### 立憲主義の基本

憲法96条は「各議院の総議員の3分の2以上の賛成で」改定案を發議し、国民投票にかけると定めています。

憲法が憲法改定の發議要件を厳しくしているのは、憲法が国の基本法として大事なものであるからです。

国家による権力の乱用から国民を守るといふのが、憲法の立憲主義の基本であり、憲法改定の手続きを他の法律より厳しくしているのも、時の政権の都合で勝手に憲法が改定されないようにするためです。

### 米国はより厳しく

憲法改定にあたって議会の「3分の2」あるいは「4分の3」の

## 佐野洋氏 亡くなる 推理小説界の重鎮 長沼と関わり

推理小説界の重鎮、作家の佐野洋（さの・よつ、本名丸山一郎）まるやま・いちろう氏が4月27日、肺炎のため川崎市の病院で死去しました。84歳

佐野洋氏と長沼との関わりを明らかにしたのは民報藤島09年3月1日第684号です。長沼の淀昭哉さんが藤沢周平全集別巻『人とその世界』を読んでいたら、推理小説家の佐野洋が「祖父母が山形県東田川郡長沼村現在（藤島町）の出身で、父もそこで生まれているのだ。」（363頁）と書いてあり、ミステリーファンの藤沢周平にそのことを話そうと思っていたが、ついにその機会がなくなったと残念がっている文章をみつけ、長沼のどの

賛成などと要件を定めるのは世界でも常識で、米国の場合、さらに全州の4分の3以上の賛成が必要で、日本以上に手続きが厳しいのが現実です。

日本を再び「戦争する国」にする憲法9条の改定のために、まず96条の改定をなどというのは、危険な改憲のハードルを低くする以外の何ものでもありません。

籍におりました。

佐野洋氏の父親は板垣呉服店（現在は営業を中止）の出身です。

### 昭和20年代の思い出

また成澤功氏（中町）から、「佐野氏の父の長兄は、藤島駅前で米穀商板垣商店の経営者だったとのこと。昭和20年代、板垣商店の2人の男の兄弟とは、私は鶴岡の学校へ一緒に汽車通学をした仲です。……通学の路上で、或いは客車の中で東西の詩文を声を低くして口ずさんでいるのを何度か見かけています。……文学に憧れる共通のDNAを持っているのかもしれないですね」との寄稿をいただいています（民報藤島09年3月8日第685号）。

佐野洋氏は、65年「華麗なる醜聞」で日本推理作家協会賞。73年から3期6年間、日本推理作家協会理事長を務めました。菊池寛賞など受賞。

マスコミ九条の会よびかけ人。布川事件の贖罪被害者を支援。

「しんぶん赤旗」へもたびたび登場し、連載小説「砂の階段」「生きていく灰」などを寄稿。警察による盗聴の被害を受けた緒方靖夫・党国際部長（当時）の裁判を支援。この事件をもとに小説「卑劣な耳」を執筆しました。



私の父（丸山勇）は、丸山家に婿養子に入っで姓が変わったもので、旧姓は「板垣」と申し、明治35年2月3日に、「山形県東田川郡長沼村字宮前85-2番地」にて出生しました。

祖父は、長左衛門（名前は世襲だと聞いております）（母は、なつよ）。私の父には兄弟姉妹が11人おり、父は次男でした。

父の兄は藤島駅近くで、米穀関係の店を経営。

なお、父の勇は長沼小学校の尋常科と高等科を卒業後、代用教員として母校に勤め、その後、海軍に志願兵として入り、終戦まで軍

参院選勝利！ 比例代表5人全員当選へ

# 日本共産党演説会

○井士



高橋ちづ子



紙 智子

TPP交渉参加、原発再稼働、消費税増税……。国民の願いを胸にこじり、悪政を強行する安倍自公政権。ま・くらしを支える政治をめざす日本共産党の政策をお話しします。ご質問、お問い合わせの上、ご参加ください。

## 5月26日（日）

◎午後1時30分～3時

寒河江市民文化会館

◎午後4時～5時30分

三川町・なの花ホール

主催 日本共産党山形県委員会 山形市深町1-1-45  
電話 023-644-1212 FAX 644-1213



太田としお

# 「木材利用ポイント制度」が4月から 住宅新築に30万円分のポイント 林野庁

国の「木材利用ポイント制度」が4月から始まりました。

地域材を活用した木造住宅の建築や内装・外装木質化、木製品・木質ペレットストーブ等の購入にポイントを発行し、商品交換などをおこなうもので、林野庁で410億円が予算化されています。

原産地や種類が表示されるなど一定の条件を満たした国産材を使って住宅を新築すると、購入価格にかかわらず30万円分のポイントがもらえます。

2013年度中に着工した住宅で、柱やはりなどに国産材を半分超使っているのが条件です。

利用者は、ポイントと木製の家具を交換したり、農山漁村の体験型旅行をしたり、地域

の農産品との交換や商品券と交換できるようになります。

林野庁は6月下旬以降に申請を受け付ける予定です。

住宅施工業者は登録等が必要で、申請先である「山形県木材利用ポイント事業推進協議

会（電023・666・4800）が設置されており、登録業者の申請受付期間は5月上旬～5月31日となっています。

鶴岡市でも「木材利用ポイント制度」の周知に力を入れるとのことです。

## 好々爺・三国連太郎さん逝く ―人間主義は日本共産党と一緒―

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

4月14日三国さんが90歳で亡くなった。本当の俳優がまた、と悲嘆にくれる。追悼番組

がいくつか放映され、しんぶん赤旗16日付コラム「潮流」も書いている。「潮流氏」は幾度かお会いし、実際の三



赤旗日曜版4月28日付

## 満開を急がぬ出羽の濠桜

工藤 博司



(画・加藤貞雄)

今年は四月に入ってから低温が続いている。桜の開花は例年より遅れているわけではないが、開花のあと気温が下り、つい先日などは山形の桜が雪をかぶったり、鶴岡でもみぞれ混りの雨になった。

四月二十一日は日曜日とあって、絶好の花見日和と思われたが、冷たい雨続きで、鶴岡公園に足を運んだ人々の期待を裏切った。

開花後の低温は花を長持ちさせるのでうれしい一面もある。それにしても、例年になく天候異変は気になる。花もそこに藤沢周平

記念館に足を向けたが、いつ見ても胸のすくのは、藤沢氏が、鶴岡市名誉市民の誘いを受けながら、意を尽して断わりをしたためた書簡のいさぎ良さである。終始民衆の側に立ち続けた氏のつよい意志が伝わる一文であった。

国さんも「釣りバカ日誌」の「スーサン」のような好々爺で甘い物が好きだったという。

私は「スーサン」バカで、全編を何度も観させてもらった。何気なしに喋るセリフの中に鋭い政治・社会批判がある。権力への反骨精神は筋金入りで、旧制中学の軍事教練が嫌で、捕まったものの一時海外に逃亡したというエピソードも。

三国さんと『赤旗』との関わりである。創刊80周年のときに、『赤旗』にしても日本共産



### 戦後レジーム

戦後レジームからの脱却という文言、前回首相になった時から使っていたつけが、この時は教育基本法を改悪したんだ。今度は憲法に手を出すという。

▼どうもこの人、日本が起こし他国に多大の犠牲と迷惑をかけた反省から「2度と戦争はしないぞ」という決意が入った憲法が気に入らないらしいんだ。

▼ナンボ気に入らないと言っても世界中から尊敬され平和を維持してきたし、その元で政治家をしてるんですがネー。しかも総理大臣ですヨ。当然第99条は知っているでしょう。

▼天皇、国務大臣、国会議員、裁判官、その他公務員は、この憲法を尊重し、擁護する義務を負う、とある。

▼俺は役場にお世話になる時に「憲法を守っ

党にしても、人間主義という出発点が、本来の成り立ち。『赤旗』は、その意志を継いでおいに本場の報道を伝えていたきたい。」と激励の言葉を寄せ、また紙上で平和憲法への熱い思いを繰り返して語った。「この子(孫)が大きくなった時、日本はどうなっているのか空恐ろしい気がします。あれだけの犠牲を出して構築した平和憲法だけは、守っていかなくやいかんと思えます」。安倍首相にこそ聞かせたいものです。

て仕事をします」という事が入っている誓約書にサインした記憶があります。選挙で選ばれた選良と言われる方々には「憲法を守って国民に奉仕します」としてはならないんですか。税金から政党助成金まで貰いながら、戦後とウンヌンするのは憲法のことではないでしょ。オカドちがいというものです。

▼戦後60数年経ちながら未だに基地があり、昔進駐軍と言われた方々が手を振ってカッポし、時々大きな犯罪を犯している。ジェット機の騒音で子どもたちの勉強が止まり、夜安眠が出来ない沖縄県民を、こんな状況から解放するのがレジームとかではないですか。

▼国民の平和と安全、安心に責任を負うのが政治の仕事です。憲法にアタリチラスのはハツキリした誤りです。

(石川)